

農業者年金で 生涯所得の確保を!

国が支える
安心が大きくなる
担い手積立年金

- あなたの老後生活への備えは十分ですか？
- 年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。
- 老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。

農業者年金 へは…

国民年金
第1号
被保険者
国民年金保険料
納付免除者を除く。

年間60日以上
農業に従事

60歳未満

全て満たす方ならどなたでも加入できます。

月々の保険料を大きくすることで将来の支給額を
増やすことができます

農業者年金の保険料は2万円から6万7千円まで（千円単位で）加入者が自由に
選択できます。また、保険料の額はいつでも見直しできます。

加入期間が短くても保険料を増やすことで豊かな老後に備えることができます。

※脱退も自由ですが、脱退された場合でも脱退一時金としてではなく、将来、年金として支給されます。

農業者年金に加入すれば～農業者年金の支給額（年額）の試算

加入年齢	加入年数		保険料月額 4万円の場合	保険料月額 6万7千円の場合
40歳	20年	男性	62万円	103万円
		女性	52万円	87万円
50歳	10年	男性	28万円	46万円
		女性	23万円	39万円

※この試算は、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が0.50%となった場合の試算です。制度発足以降13年間(H26まで)の運用利回りの平均は、年率3.00%です。予定利率は、毎年度農林水産省告示により定められ平成28年度は0.50%です。
※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。

農委だより

発行
秩父別町農業委員会

2018

3月号

◎ 農地に関することや農業者年金のお問い合わせ ◎
農業委員会事務局 電話 33-2111 (内線63番)

地震に備える

地震はいつ、どこで発生するかわかりません。もし、降雪期に大きな地震が発生した場合、北海道では、夏よりも被害が大きくなるといわれています。

これから雪解けが進む時期を迎えますが、万一の地震に備え、屋根雪や寒さへの対策をしておきましょう。

① 屋根雪に対する備え

屋根に多くの雪が積もっていると、雪の重みにより家の倒壊の危険性が高くなります。また、地震の揺れによる屋根からの落雪で、避難路がふさがれることもあります。日頃から自宅周辺などで落雪のおそれがあるところを確認しておきましょう。

② 火災に対する備え

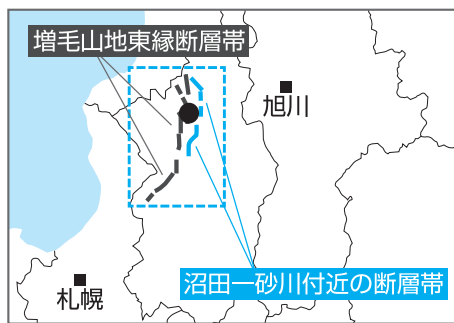
冬は夏と比べて風が強くと乾燥しており、また、ストーブなど暖房器具を使用しているため、火災の危険が高くなります。地震が起きたらまず身の安全を守り、揺れがおさまってから暖房器具やガスコンロの火を消してください。

最近の暖房器具は、地震を検知して自動的にガスや灯油の供給を止める機能が備わっているものが多くなっています。ご家庭の器具に機能が備わっているか、きちんと動作するかなど、定期的に点検・確認しておきましょう。

また、電気が復旧する際に電気製品などがショートすることにより、火災が発生することがあります。避難する時には必ずブレーカーを落としましょう。

③ 寒さに対する備え

地震によって電気やガスなどのライフラインがストップし、暖房器具が使えなくなることが考えられますので、防寒着、毛布、使い捨てカイロなどを用意しておくことも大切です。防寒着などは、避難所への移動時やその後の避難生活でも必要となります。寒さへの対策についても考えておきましょう。



秩父別町で想定される地震

秩父別町に大きな影響を及ぼす可能性が高い地震として、町の間近に震源がある内陸活断層の「沼田-砂川付近の断層帯」と「増毛山地東縁断層帯」、活断層が地表で認められていない地震「全国どこでも起こりうる直下の地震」が想定されます。

「緊急地震速報」を見聞きしたら、
まず身の安全を！

「緊急地震速報」とは、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早くお知らせする情報です。最大震度5弱以上の揺れを予想した場合で、震度4以上を予想した地域に対して発表され、テレビやラジオ、携帯電話・スマートフォンなどを通じて伝えられます。

緊急地震速報が発表されてから強い揺れが襲ってくるまではわずか数秒から長くても数十秒しかありませんが、あらかじめ危険を回避する行動を取ることによって、身の安全を図ることができます。

◆緊急地震速報を見聞きしたら

① 家庭では

- ・ 頭を保護し、丈夫な机の下など、安全な場所に避難する。
- ・ あわてて外へ飛び出さない。
- ・ 無理に火を消そうとしない。

② 屋外では

- ・ 看板や割れたガラスの落下、ブロッコ塀の倒壊に注意する。

③ 自動車運転中は

- ・ ハザードランプを点灯し、周りの車に注意をうながす。
- ・ 急ブレーキはかけず、ゆるやかにスピードを落とす。

家具転倒防止対策

家具の固定や配置の見直しで「安全空間」を！

過去に発生した大震災では、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって、尊い命を失ったり、大ケガをしたりしました。

家具類の転倒・落下防止は、建物の構造や部屋の状況に応じた対策が必要ですが、ひと工夫で実現できるグッズを活用するなどして、自分や家族を守りましょう。



家具転倒防止グッズの主なもの

伸縮棒（ポール式）



家具と天井の間に設置する突っ張り棒状の器具

連結金具



家具の上下を連結して転倒や落下を防ぐための器具

L字金具



家具と壁を木ネジやボルトで固定するタイプの器具

扉開放防止器具



扉の開放を防ぐための器具

ストッパー



家具の下部に挟み込み、家具を壁面に傾斜させる器具

ガラス飛散防止フィルム



窓や棚などのガラスに貼って、飛散を防止します

タンスの固定例	本棚の固定例	食器棚の固定例	引越しや模様替え
<p>伸縮棒などを使用して、タンスの奥の方（壁側）で、天井や家具の硬いところに取り付けます。</p> <p>また、天井側だけでなく床の側もストッパーなどで固定し、上下に分かれている家具は連結しておきましょう。</p>	<p>タンスと同じように、壁の中の硬い所や下地材のあるところを探して、金具やワイヤーなどで固定します。また、ヒモやベルトなどを取り付けて中の本が飛び出さないようにしましょう。</p>	<p>L字金具などでしっかりと壁に固定し、また、開き戸が開かないようにとめ金をつけたり、ガラス部分にガラス飛散防止フィルムを貼ったりして、ガラスや食器が凶器にならないよう工夫しましょう。</p>	<p>引越しやお部屋の模様替えをする時が、総点検のチャンスです。寝具と家具の向きをチェックしたり、家具の下にストッパーを敷いたり、テレビやパソコンの下に耐震マットを敷くなどのひと工夫をしましょう。</p>

▼ 問い合わせ

札幌管区気象台地震火山課

(011) 611-6125



<http://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/index.html>

気象庁

検索

緊急地震速報の詳細については、気象庁ホームページをご覧ください。

◆ 気象庁では緊急地震速報の訓練を行うための動画を、通信事業者では訓練用のスマートフォンアプリをそれぞれ用意しています。これらのツールを利用して、テレビ・ラジオ、携帯電話・スマートフォンなどの緊急地震速報の報知音を確認し、定期的に身を守る訓練をしましょう。

◆ 緊急地震速報を利用するときの注意

震源に近い場所では、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わない場合があります。

また、緊急地震速報で予想する震度は、±1階級程度の誤差を伴ったり、震源が観測点から遠い場合や深い場合は、誤差が大きくなる場合があります。

1 / 30



先祖の出身地域など富山県に縁のある方々が集う富山県縁（ゆかり）の会の総会が、ちっぷ・ゆう&ゆで行われました。昨年の事業報告及び今年の事業計画について話し合わせ、総会後の懇親会ではそれぞれ親交を深めました。

広報に掲載した写真をご希望の方、広報に関するご意見ご要望は、総務課総務グループ（広報担当）までご連絡ください。
※写真は電子メール送信による提供も可能です
・電話 33-2111（内線34番）
・メール kouhou@chippubetsu.jp



2 / 2



生活習慣病やがん予防につながる野菜を積極的に食事から取り入れることを学ぶ「生活改善料理教室」が生き生き館で行われました。赤松栄養士の講話のあと、参加者は体にやさしい常備菜づくりに挑戦しました。



2 / 2

認定こども園くるみで、節分お楽しみ会が行われました。節分のお話や玉入れゲームなどを楽しんだあと、赤鬼と青鬼が登場し、子ども達は手作りのお面をつけて、逃げ回りながらも元気よく鬼にむかって豆を投げました。



2 / 18

まちづくり協働隊と犬ぞり愛好会主催による冬のイベント「みんなで一緒に雪遊び！」が開催されました。集まった子ども達は犬ぞり体験や特設の大型滑り台、スノーモービルなどで元気いっぱい遊びました。



2 / 9

4月から秩父別小学校新1年生になる児童の一日体験入学が行われました。保護者が入学の説明を受けている間、子ども達は各教室などを見学し、最後に体育館で1年生と一緒に仲良く鬼ごっこゲームなどを楽しみました。



町内の農産物加工グループ「ちっぴの里」（代表：岡田好子さん）が小学校と中学校を訪れ、児童・生徒全員分の笹団子を寄贈しました。受け取った小学5年生の児童は、「ありがとうございます！」と元気にお礼を言いました。



認定こども園くるみで食育教室「野菜を食べよう！」が行われました。教室では、園児たちに野菜の好き嫌いをなくしてもらうため、こども園の栄養士が、写真や模型を使いながら野菜を食べる大切さなどをわかりやすく伝えました。



ちっぴべつスタンプ会主催による「ビールパーティー」が交流会館で行われました。チーム対抗ゲームが行われたあと、ジュースやカップめんなどが箱ごと当たる抽選会も行われ、商品券のつかみどりでは、大いに盛り上がりました。



認知症の方やその家族を温かく見守り、応援する「認知症サポーター」の養成講座が老人福祉センターで行われました。受講者は認知症について理解を深め、受講後にサポーターの証となるオレンジリング（腕輪）が手渡されました。



農業者が加工や販売も手がける「6次産業化」をテーマにしたセミナーが交流会館で行われました。北海道6次産業化サポートセンターの須川清一さんが講師となって、取組事例を紹介しながら講演し、個別相談も行いました。



未就学児の親子を対象にした「子育て講座」がキッズスクエアちっくるで行われました。参加者は子どもの年齢期にあわせた遊びや全身を使った運動の大切さを学び、コミュニケーションを深めるための親子ゲームも行われました。